

講義名	8010000600 健康教育技法						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員(単位認定者)	藤邊 祐子		

学習目標 (到達目標)

- 助産師による相談・教育の対象と特徴について説明できる。
- 相談・教育する上で基盤となる理論について説明できる。
- 相談・教育活動の基本がわかり、健康教育の内容・方法・評価について説明できる。
- 個別指導・集団指導のアプローチについて説明できる。
- 両親学級・母親学級の計画立案と実施・評価ができる。
- マタニティビクス・マタニティヨガについての計画立案ができる。
- 思春期および成人期の健康教育について実施・評価ができる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験およびレポート、授業中の発言やグループワークの状況(参加度・貢献度・発言や取り組みの状況)等により、総合的に評価する。

講義時使用テキスト

- 医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ [妊娠期]
- 医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ [分娩期]
- 医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅲ [分娩期・産褥期]
- 医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅳ [新生児期・乳幼児期]

資格との関連

本科目は、別科助産専攻の必修科目となっている。

実務との関連

授業概要 (教育目的)

健康教育を行う基礎知識を理解し、健康教育に必要な指導・相談活動について学ぶ。また、集団指導の企画・運営・評価について学ぶ。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の授業で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習
1	相談・教育の対象理解 理論的基盤:問題解決プロセス、女性と家族セルフケア理論、エンパワメント	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
2	健康教育理論:健康信念モデル、プリシート-プロシートモデル 学修の理論:教育と学習、学修のメカニズム、学修プロセスへの支援と動機付け	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
3	相談技術の基本・実際:教育技術の基本 保健指導活動の技術、実際	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
4	健康教育の実際、企画書、計画書:目的・内容・方法・評価 保健指導活動の技術、実際	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
5	個別相談の方法:アプローチの特徴と指導場面 受胎調節の意義と目的	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
6	集団指導の方法:アプローチの特徴と指導場面	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
7	両親学級・母親学級①:企画書作成 両親学級・母親学級②:指導案作成	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
8	産褥期の指導①:企画書・指導案作成 沐浴指導①:企画書・指導案作成	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
9	産褥期の指導②:企画書・指導案作成 沐浴指導②:企画書・指導案作成	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
10	産褥期の指導③:発表・評価 沐浴指導③:発表・評価	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
11	思春期の健康教育・未就学児への健康教育	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
12	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座① 企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
13	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座② 企画書・指導案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
14	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座③ 発表練習・発表	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
15	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座④ 評価・振り返り・修正	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
16	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座⑤ 実際①	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
17	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座⑥ 実際②	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
18	女子アスリート向け健康講座:未就学児向け健康講座⑦ 実際③	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
19	訪問指導の意義と実際、計画立案	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
20	成人期女性の健康教育、企画、指導案、テーマ作成 避妊法について	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
21	産褥期退院指導・沐浴指導① 企画書・指導案作成	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。
22	産褥期退院指導・沐浴指導② パンフレット等作成発表準備	各授業内容のテキスト該当箇所は必ず一度目を通してから、授業の臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を振り返り、学んだことをまとめる。まためたものを発表しあい、学びを共有できるように復習しておくこと。

講義名	8010001000 助産診断学Ⅲ（産婦のケア）						
年度	2024	開講時期	通年	講義区分	演習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻		担当教員(単位認定者) 藤邊 祐子				

学習目標（到達目標）

1.分娩経過の診断、アセスメントの内容について述べるができる。
2.分娩経過、母体の状況から分娩所要時間の算出ができる。
3.母体の分娩各期のアセスメントについて述べるができる。
4.胎児の健康状態のアセスメントについて述べるができる。
5.分娩介助の意義と原理をふまえ、分娩介助技術の要点を述べることができる。
6.出生直後の新生児のアセスメントについて述べるができる。
7.正常分娩の各期の産婦と家族をアセスメントし、ケアプランが立案できる。
8.異常経過にある産婦と家族をアセスメントし、ケアプランを立案できる。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験とレポート課題で評価する。

講義時使用テキスト

- 医学書院 助産学講座2 基礎助産学[2]母子の基礎科学
- 医学書院 助産学講座3 基礎助産学[3]母子の健康科学
- 医学書院 助産学講座4 基礎助産学[4]母子の心理社会科学
- 医学書院 助産学講座5 助産診断・技術学Ⅰ
- 医学書院 助産学講座6 助産診断・技術学Ⅱ[1]妊娠期
- 医学書院 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ[2]分娩期・産褥期
- 医学書院 助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ[3]新生児期・乳幼児期
- 医学書院 実践マタニティ診断 第5版
- 医学書院 標準産科婦人科学 第5版
- メディカ出版 THE分娩 生理学・助産診断・分娩介助のすべて
- インターメディア 助産技術アドバンス

資格との関連

助産師国家試験受験に必須の科目である

実務との関連

授業概要（教育目的）

身体的・精神的・社会的な3つの側面からの産婦と胎児の状態を把握し経過を助産診断するための知識・技術と、安全・安楽で産婦が満足できる分娩を導くために必要なケアを学ぶ。
分娩期の診断・援助能力を修得できるよう、講義に加え、産婦事例を用いて分娩期の助産過程を展開する。

課題に対するフィードバック

課題やレポート等は、次の備考で代表的なものをいくつかフィードバックする。また、コメントして返却する。

参考文献

- 医学書院 日本助産診断実践学会編集 マタニティ診断ハンドブック
- 医学書院 WHO推奨 ポジティブな出産体験のための分娩期ケア

学生へのメッセージ

授業計画表

	内容	予習	復習
1	オリエンテーション「分娩経過に必要な基礎的知識」：分娩とは、分娩の3要素、分娩が母体・胎児に及ぼす影響	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
2	「分娩期のフィジカルアセスメント①」産婦の健康診査、分娩開始の予測と徴候、破水の診断、分娩期の経過診断	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
3	「分娩期のフィジカルアセスメント②」胎児の健康状態のアセスメント、胎児付属物のアセスメント	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
4	「分娩期のフィジカルアセスメント③」母体の健康状態のアセスメント、分娩期の心理・社会的変化	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
5	「産婦の支援の基本①」対象をみる視点、ケアの背景となる基本的知識	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
6	「産婦の支援の基本②」分娩経過に沿ったケア	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
7	「産婦の支援の基本③」分娩経過に沿ったケア	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
8	「分娩経過の診断および診察法」分娩時の胎児心拍数モニタリングの読み方と対応	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
9	「分娩期の異常・偶発疾患」分娩の3要素、分娩に伴う措置・偶発疾患	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
10	「ハイスコア・異常分娩時のアセスメントと支援」ハイスコア・異常分娩時のアセスメント、ハイスコア・異常分娩時の産婦への支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
11	産科手術及び産科的医療処置 分娩時の救急処置	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
12	「出生直後の新生児のアセスメントとケア」①出生前に行う新生児の状態の予測と準備、出生直後の胎後適応状態の評価と支援②異常の早期発見と支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
13	「分娩直接介助の実際と産婦ケア」 ゲストティーチャー	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
14	技術演習「分娩経過の診断および診察法」①入産の必要性の判断および診察法	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
15	技術演習「分娩経過の診断および診察法」②陣痛測定とその評価、分娩時の胎児モニタリングの読み方と対応	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
16	「分娩介助の原理と介助技術」①	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
17	「分娩介助の原理と介助技術」②	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
18	「分娩介助の原理と介助技術」③	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
19	「分娩介助の原理と介助技術」④	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
20	技術演習「分娩介助の原理と介助技術」①	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
21	技術演習「分娩介助の原理と介助技術」②	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。
22	技術演習「分娩各期の産婦への支援①」分娩進行に伴う基本的ニーズへの支援、分娩経過に伴った支援	各授業内容のテキストにおける該当箇所は、必ず1度目を通してから、授業に臨むこと。	配布された資料とテキスト等を参考に、学習内容を復習し、学んだことをまとめる。まとめたものを発表し合い、学びを共有できるように準備しておくこと。自己の学びを整理しておくこと。

講義名	8010001300 周産期救急とケア						
年度	2024	開講時期	後期	講義区分	講義	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員(単位認定者)	高橋 聡太		

學習目標(到達目標)

- 1.産科救急の特性を説明できる。
- 2.異常を判断する上での超音波診断の基本技術およびCTGの判読ができる。
- 3.異常分娩時の対応を説明できる。
- 4.出生直後の児の状態評価と蘇生について説明できる。
- 5.新生児の蘇生法の基本がわかる。

授業概要(教育目的)

周産期ハイリスクおよび分娩時における異常・救急時の診断と対応、妊産婦・新生児への援助について学ぶ。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

定期試験により評価する。

課題に対するフィードバック

期末試験の成績について疑問のある学生は「成績疑問申請」を提出すること。

参考文献

講義時使用テキスト

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1.メジカルビュー | プリンシプル産婦人科2 産科編 |
| 2.メジカルビュー
テキスト | 日本救急蘇生ガイドライン 第4版新生児蘇生法 |
| 3.メディカ出版 | 胎児心拍数モニタリング講座 |
| 4.メディカ出版 | 周産期超音波のしかた |
| 5.メディカ出版 | 母体急変時の初期対応 |

資格との関連

学生へのメッセージ

実務との関連

授業計画表

	内容	予習	復習
1	妊産婦死亡や産科医療補償制度に関連した統計と背景	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
2	助産師に求められる超音波診断の実践	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
3	助産師に求められるCTG判読の実践	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
4	急遽分娩・産科手術の対応	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
5	産科ショック時の対応、妊産婦蘇生法	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
6	異常新生児の診断と対応	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
7	新生児蘇生法と新生児仮死・低酸素脳症	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する
8	各種周産期救急コースについて	テキストの該当箇所を読む	配布資料やノートを読み直し、授業の内容を理解する

[illegible]

講義名	8010001800 臨地実習Ⅰ（妊娠期・継続事例）						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員(単位認定者)	藤邊 祐子		

學習目標(到達目標)

1. 妊婦健康診査を実施し、妊婦・胎児および家族の適応過程をアセスメントし、必要な保健指導を述べることができる。
2. 妊婦またはその家族に必要な保健指導の一部を実施できる。
3. 継続事例の妊娠期から1ヶ月健診までの助産過程を展開できる。
4. 母子保健医療チームの一員として、多職種や地域との連携を考えて行動できる。

授業概要(教育目的)

実習病院の外来にて実習を行い、妊婦の健康診査と助産診断・保健指導を実践する能力を養う。
妊娠期から産褥期まで継続して受け持つ対象を1例選定し、妊娠期から1ヶ月健診までの援助を行う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

到達目標を元に作成した評価表に沿って、実習記録・実習中の行動等により評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題(レポート等)については、実習中や、実習後のまとめ、カンファレンスの中でフィードバックを行う。
- ・成績評価は自己評価をしてもらい、良かった点と今後の課題について個別にフィードバックを行う。

参考文献

講義・演習で使ったテキスト、参考書、資料に準ずる。

講義時使用テキスト

資格との関連

実務との関連

助産師として、総合病院等に勤務。臨床経験をもとに受け持ち患者の看護について理解が深まるように助言する。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

講義名	8010002000 臨地実習Ⅲ（ハイリスク事例）						
年度	2024	開講時期	前期	講義区分	実習	対象年次	1
対象学科	別科助産専攻			担当教員(単位認定者)	藤邊 祐子		

學習目標(到達目標)

1. 高いリスクを抱えた妊産婦を受け持ち、助産過程を展開できる。
2. 妊産婦のメンタルヘルスを考慮し、必要な援助を行うことができる。
3. 助産実践に必要な倫理的配慮を考え行動できる。
4. 母子保健医療チームの一員として、多職種や地域との連携を考えて行動できる。

授業概要(教育目的)

ハイリスク妊産婦(胎児を含む)に対し、指導者の助言を受けながら健康状態・経過をアセスメントし、適切な援助を実践する能力を養う。

卒業認定・学位授与の方針との関連

助産の実践に必要な基礎的な知識及び助産過程の展開に必要な助産技術を身に付けている。

評価方法

到達目標を元に作成した評価表に沿って、実習記録・実習中の行動等により評価する。

課題に対するフィードバック

- ・事前課題(予習)、実習記録、事後課題(レポート等)については、実習中や実習後のまとめカンファレンスの中でフィードバックを行う。
- ・成績評価は、先に自己評価を行い、良かった点と今後の課題について個別にフィードバックを行う。

参考文献

講義・演習で使用したテキスト、参考文献、資料に準ずる。

講義時使用テキスト

資格との関連

実務との関連

助産師として総合病院等に勤務。臨床経験をもとに受け持ち患者の看護について理解が深まるように助言する。

学生へのメッセージ

授業計画表

[illegible]

